

## 隠された不満 北川 信一さん（仮名）インタビュー記録

2004年7月29日 15時47分～  
Z園（仮名）北川さんの部屋にて  
質問、記録：田中 文恵

### ○北川さんについて

インタビューさせていただいた北川信一さんは、現在24歳の男性でZ園に入所して5年目になる。軽作業科に所属し、少女漫画雑誌の付録の袋詰めの仕事をされている。右半身に障害があり右手を使うことが困難である。両足に装具を使用されており、歩行時には概ね装着している。

### ○Z園に入所する前について

Z園に来る前に、H峰〔学校とセンターが併設されている施設〕に小学校時から高3くらいまでずっとおった。団体生活だった。H峰におったときは6人部屋だったけん、団体生活にはまあ慣れとるかな。家族と長い間一緒に暮らしていなかったが、土・日は家に帰ったりしよった。

### ○Z園に入所するきっかけについて

Z園に入所するのは自分で決めたのかって？えーっとな、それは知らんのよ（笑）何か知らん間にいきなりな、H峰におったとき何かお母さんに「Z園あるけんそこ入らんの」とか言われて。まあその時は別にそんなに考えとらんかったけど。まあ別に〔Z園に入所しても〕ええよって言って、まあ入ったんやけど。何か知らん間になあ先生〔施設利用者が職員のことを指して「先生」と呼んでいた〕とかが。一回Z園に体験みたいな感じで来たんよ。んでまあ、ここ〔Z園〕に入ったということで。Z園に体験で来てみて、ここだったら良いと思うようなことがあったのかって？別に（笑）そんなことも思わんかつと思うけど。

### ○Z園での生活

Z園の起床は6時45分やけど、俺はほの時間には起きんな（笑）点呼は朝の6時45分やけど、その時間はまだ寝よるわ。朝飯は7時半か。まあ、たまに忘れて寝よる時があるけど。そんな時は先生が起こしに来る場合があるし、それかもうそのまま寝とって朝飯抜きのときもあるし。仕事は9時から。その間洗濯とかするときもあるしせんときもあるし。お昼休みは俺は部屋で寝る。部屋でテレビ見たり、寝たりしよる。仕事が終わった後はたまに買い物とか行ったりする。ほなけどほとんどが部屋でおるな。買い物はここら辺りの本屋とか。僕はまあ、一人で買い物に行きよるけどな。後は、部屋でテレビ見たりしよる。風呂入ったり。そりゃあもう後は自由やけんあ。風呂は一人で入る。入浴で不便なことは別にないな。トイレも別にいける。

Z園での生活は快適ではない（苦笑）快適とは言えん、言えん。ここがこうだったらいいのにとすることはあることはあるけど。ここの仕事の給料とかもっと上げてくれたらとか、

たまに思うけど。このお金は給料から払っているかって？このお金は払いよらんのかな。払いよんかいな。わからん。給料は買い物に行くときとかに使う。あれ、先生になんぼおろすか〔金額を〕言うて、〔紙に〕書いてほれを下ろしてもらおう。

部屋の工夫ですか？使いやすいように、う～ん別にないと思うけど。

自分で料理したりとかはせんな。健康に気を使つとるとか別にないな。考えてやったとしてもすぐあかんようになる。長続きせんとしてやめてまう。

#### ○実家での生活について

実家での生活しやすい工夫としては、階段に手すりが付けてある。最初は一階だけやって、後で二階ができた時にそのとき付けた。実家のほうがやっぱりくつろぐ。やっぱり家のほうがいいわ。プレステとかしまくれるし。ゲームとかテレビとか見てくつろいどる。たまに遊びに〔出かけて〕行ったり。

#### ○仕事について

担当の仕事は、軽作業の付録入れをしている。（【画像 1】参照）まあ、軽作業やけん。その仕事にやりがいは、ふっ（笑）やりがいは、まあ感じとるってことにしとこうか。他にやりたい仕事ですか？他にはあんまり、そんなこと考えんけん。付録入れのより前の仕事はない。Z 園に入ってからと同じ仕事じゃ。入所したのはうーん、18 の春休み前か。3 学期の終わるちょっと前の 2 月ぐらいに、何か入所して。ほれで、春休みなかったんよ。もうほんときにここ〔Z 園に〕入とったけん。仕事しよった。そのときから付録入れの仕事をしていた。まあ最初来たときはいろんなところ回ったけど。一番し易いんがええ思うてしよる。自分で付録入れの仕事を希望したのかって？はは（笑）自分で希望した（笑）何か希望したような気もするし、なんか知らん間に決められとったかもしれんし。まあ忘れた。まあ、一番やり易すそやな思うたんは、そやな。

Z 園に入所して仕事を始めて、一時は（笑）、一時的には楽しくなってきたと感じたけど、今は別にほんなおもしろいとか感じんようになってきたかな（笑）。それは、同じ仕事を続けとるからというよりは、やっぱりなあ、給料がなあ。給料がもっと貰えるような仕事がしたいとは思とるけどなあ、まあ無理だろうな（苦笑）。今やっている仕事の目標とかあるか？目標は別にないな（笑）。

#### ○装具について

装具の調整修理は Z 園に技師さんたちが来て行っているのかあるいは、自分から技師さんに連絡をしているのかですか？自分からは〔連絡を〕したことないけど。ほんな、どないしよんだろ。装具を付け始めたのは小一だったかな。小学校の時からやと思う。いやもっと前やったかな。小学校の時はこの〔現在使用している〕装具ではなかったんやけど。違う装具付けとって途中からこれになって。今付けている装具は長いことになる。歩くとき以外はまあ、ほとんど装具付けとらんけどな。歩くときは付けなあかんけど。家に帰る時はまあ、装具を付けずに普通の靴で帰るけど。〔北川さんは歩行距離によって二つの靴を使い分けている。比較的長い歩行距離の場合には装具を装着し茶色の靴を履く。比較的短い歩行距離の場合には装具を付けずに黒色の靴を履く。〕（【画像 2】参照）歩きにくいとか

いうことはない。慣れてるから。

Z園に来てから修理はしたかって？修理とかあの、H峰におったときに作って、修理とかはしたことあったかな。わからん。

#### ○仕事場での工夫

自分の仕事する机ですか？え、あれは自分の机ではないけど、場所は決まっとんな。あれ、だいたいこことかこことか分かれてみんなしよるけん。その場所で工夫はしとると思うけどな。座ったまま手が届くような。

#### ○トラブルへの対処

仕事の納期がせまっているときに体調悪くて仕事ができない、休まなければいけないときはどうするのかって？ええっとね、俺が休んどって納期迫ってきよんだったら、他の人が、先生とかがやとってくれる。まあ体調が良かったら自分もするし。だいぶ体調が悪かったら仕事の途中で、「ちょっと熱はかってくるわ」って言うて熱はかりに行って、熱あったら「熱あるけん寝てくるわ」って言うて。納期が迫っとんやったら〔北川さんの分の作業を〕してくれるし、そうでなかったら置いとくし。まあその時その時やな。

#### ○不満

一人部屋とか二人部屋とか、二人部屋は別にいいと思うけどな。何かけど、そのうちここ〔隣部屋との境の壁を〕ぶち破って四人部屋にするとか言ってるけど、ほんな四人部屋にまではして欲しいないと思うよ。まあ、ここぶち抜くんかどうかもまだわからんけど。そんな話何かでとるみたい。二人部屋で不自由とかは別にないな。

\*〔 〕内は田中。

#### —感想—

今回インタビューをさせていただき、北川さんは全体的に少し話しをはぐらかすような感じの語り方をされるとというのが印象的であった。そのなかでも気になった語りが2点あった。それは①「給料がもっと貰えるような仕事がしたいとは思っとるけどなあ、まあ無理だろうな（苦笑）」という語りと、②「(担当の仕事に) やりがいは、まあ感じとるってことにしとこうか」という語りの部分である。一見すると、①の語りでも感じられるように、自分の能力の限界を知り施設の目的に自己同一化し、諦めであるとか受身的に満足しているように感じられる。しかし、②のような語りによって受身的な満足だけではなく、今の状況、状態に不満を持っているのではないかという推測がなされる。現状に不満を持ちながらも、それを全面に押し出さずにいるというように思われる。北川さんは自身の能力の限界や施設のあらゆる点での現在の状況、環境の中で、可能な限りにおいての範囲で自分なりの自由の行使をしていると言えるのではないだろうか。

今回のインタビューの反省点は、必要であったと思われる質問事項を聞くことができなかったという点である。例えば、「将来の希望」であるとか「今の施設での状況（保障であ

るとか生活、身の補助をしてくださるボランティア等)と変わらない状況であれば一人暮らしをしてみたいか」などの質問ができていれば、先述の隠された不満についてもっと明確に述べることができたのではないかと考える。IE の考えや思いを自身の言葉で語ってもらうという点を第一に考え、インタビュー中の受け答えが自然な流れでスムーズにできるようにと事前に質問事項を作成しそれを念頭に置き、北川さんが語りやすいようにということを心がけたのだが、インタビューをするということ自体に必死になってしまい、その場で適切な質問を考え質問することができなかつた。今回の反省点を活かして、次回からのインタビューをより良いものにできるよう努めたい。



【画像 1：軽作業場での様子（2004.8.4 AM9：24：13 カメラ 9）】



【画像 2：二つの靴（2004.8.4 AM9：07：33 カメラ 9）】

**徳島大学総合科学部社会学研究室報告 既刊（国立国会図書館等所蔵）**

- |   |   |            |
|---|---|------------|
| 1 | エスノメソドロジーとその周辺<br>ー平成9年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー                | 1998年3月発行  |
| 2 | ラジオスタジオの相互行為分析<br>ー平成9年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第二版)ー              | 1998年10月発行 |
| 3 | エスノメソドロジーと福祉・医療・性<br>ー平成10年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー            | 1999年2月発行  |
| 4 | 障害者スポーツにおける相互行為分析<br>ー平成11年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第一版)ー          | 2000年2月発行  |
| 5 | 日常生活の諸相<br>ー平成11年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー                      | 2000年2月発行  |
| 6 | 現代社会の探究<br>ー平成12年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー                      | 2001年2月発行  |
| 7 | インタビューと対話の相互行為分析ー気配りと配慮の社会学ー<br>平成14年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第一版) | 2003年2月発行  |
| 8 | インタビューと対話の相互行為分析ー気配りと配慮の社会学ー<br>平成14年度徳島大学総合科学部社会調査実習報告書(第二版) | 2003年9月発行  |
| 9 | 社会学の窓ードラマティックな日常生活ー<br>ー平成15年度徳島大学総合科学部榎田ゼミナール ゼミ論集ー          | 2004年2月発行  |

---

**義肢・装具のエスノメソドロジー**

発行日 2005年2月14日

編集 榎田美雄

〒770-8502 徳島県徳島市南常三島町1丁目1番地

(088) 656-9308 E-mail:Kashida@ias.tokushima-u.ac.jp

<http://www.ias.tokushima-u.ac.jp/social/index.html>

発行 徳島大学総合科学部社会学研究室

印刷・製本 平成16年度徳島大学総合科学部榎田地域調査実習報告書発行プロジェクト

---